

平成28年度 社会福祉法人新宮市社会福祉協議会事業報告

少子高齢化が社会問題として取り上げられるようになってから久しく、特に新宮市においては人口が3万人を切り、予想よりはるかに早く高齢化社会を迎えています。

平成24年から団塊の世代が65歳となり、これまで様々な分野で第一線で活躍してこられた方々を年齢で「支えられる人」と捉えるのではなく、地域福祉を推進する中核的な存在として活動していただけるよう、特にいつまでも元気で住み慣れた地域で生活するためにも、お互いの見守りや支え合いの体制づくりに努めてきました。

総務部においては、社会福祉法の改正に伴い定款・規定の整備を行いました。また、職員に対してストレスチェックを行い、メンタルヘルス不調の未然防止に努めるとともに、職員のストレスマネジメントの向上を促しました。

地域福祉部においては、第2次地域福祉活動計画の見直しの年であり、11名の方に推進委員を委嘱し、県社協からアドバイザーを招いて5回にわたって今後の活動の推進についてご協議いただきました。巡回相談、ふくし相談等によって課題を抱えた方と制度や見守りにつなげることができたことを評価いただきながらも、全体的には計画が遅れているのが現状であり、今後一層「住民参加」「住民主体」の視点にたって活動を進めていかなければなりません。

介護保険事業部においては、平成27年度から新宮地区と熊野川地区を統合し、利用者のニーズに沿ったサービスの展開と経費の削減に努めてきました。また熊野川地区を中心に特定旅客自動車運送事業（介護タクシー）にも取り組んできましたが、介護度の重い多数回訪問の利用者の減少などにより、安定した運営とはなりませんでした。

今後更に三部がそれぞれの機能を果たし連携することによって、社会福祉協議会の理念である「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」に向って事業を展開していきます。

〔平成28年度重点事業報告〕

1. 社会福祉法改正に伴う定款・規定の整備

平成29年4月1日からの社会福祉法改正に伴い、制度改革の対応に関する研修会や市町村社会福祉協議会連絡協議会による検討会に参加し、定款変更や諸規定を整備するなど、制度改革への対応を行いました。

2. 第2次地域福祉活動計画（2014年～2018年）の推進と中間年の見直し

今年度は第2次地域福祉活動計画中間年にあたるため、推進委員会を設置し5回にわたって検討いただきました。巡回相談等によって課題を抱える方と制度や見守りにつなげることができたことや、地区によっては話し合いの場ができたことなど評価いただきました。しかし、第1次地域福祉活動計画の反省に見られた「住民参加」「住民主体」の在り方については必ずしも十分ではなく、全体的に活動が遅れている状況です。今後は、地域福祉活動を具体的に計画し参加いただく機会を作るなど、できるだけ多くの方々に地域福祉活動に参加いただくための支援が課題です。

3. 介護保険制度改正への対応と安定した事業への移行

介護保険事業を取り巻く環境の変化は速く、それに伴い、経営状態は大変厳しくなっており、安定した運営とはいきませんでした。一因として訪問介護事業の介護度の軽い利用者が増え、介護度の重い多数回訪問の利用者が減少したことがあげられます。

新宮市の65歳以上の高齢者はピークを迎え、2025年問題より10年早いスピードで高齢化が進んでいる現状を踏まえ、「住み慣れた地域で、最後まで生活できる」ように、社会福祉協議会の介護保険事業として何ができるのかを今一度見直すことが急務となっています。

今後も職員の質の向上を図るとともに、利用者から信頼され、選ばれる事業所として職員一丸となって取り組んでいくことが不可欠であります。

〔事業別実施報告〕

1. 会の運営と組織基盤の確立

(1) 理事会・評議員会の開催

〔理事会〕

平成28年 5月26日

- ・平成28年度予算説明について
- ・平成27年度事業報告の認定について
- ・平成27年度法人全体終始決算の認定について
- ・法人全体収支補正予算の同意について
- ・指定訪問介護事業・指定介護予防訪問介護事業運営規定の一部改正について
- ・指定訪問看護事業・指定介護予防訪問看護事業運営規定の一部改正について
- ・平成28年度賞与の基準支給率の同意について
- ・任期満了に伴う福祉サービス苦情解決第三者委員の選任について
- ・任期満了に伴う評議員の選任について

平成28年 6月 2日

- ・会長・副会長の選任について
- ・常務理事の指名について
- ・法人の代表権、職務代理について

平成28年 8月 4日

- ・退職者からの時間外請求の件について
- ・経理事務の顧問設置について
- ・平成29年度介護保険制度改正に伴う新たな事業展開及び熊野川温泉さつきの指定管理受託の検討について

平成28年10月27日

- ・指定訪問介護事業・指定介護予防訪問介護事業運営規定の一部改正について
- ・障害者総合支援法に基づく居宅介護事業、重度訪問介護事業、同行援護事業、行動援護事業運営規定の一部改正について
- ・指定特定相談支援事業・指定特定障害児相談支援事業運営規定の一部改正について
- ・経営の在り方検討会の設置について
- ・第2次新宮市地域福祉活動計画推進委員会の設置について
- ・社会福祉法人制度改革の概要について
- ・会計経理アドバイザーの契約について

- 平成28年12月19日
 - ・介護予防・日常生活支援総合事業について
 - ・退職者からの時間外請求の件について
 - ・定款の一部改正について
- 平成29年 1月26日
 - ・評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
 - ・欠員に伴う評議員の補充について
 - ・定款の一部改正について
 - ・評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
 - ・定款施行細則の一部改正について
 - ・評議員選任・解任既定の制定について
 - ・理事・監事選任既定の制定について
 - ・評議員選任・解任委員会の委員の選定について
 - ・評議員選任候補者の推薦について
 - ・役員等の報酬及び費用弁償に関する規定の一部改正について
- 平成29年 3月31日
 - ・平成28年度収支補正予算（第2号）の同意について
 - ・愛の福祉金庫貸付事業並びに緊急小口資金貸付事業にかかる貸付金の償還金免除について
 - ・退職職員による時間外手当請求労働審判の調停結果について
 - ・新宮市社会福祉協議会経営の在り方検討会答申について
 - ・第2次地域福祉活動計画推進委員会答申について
 - ・介護保険事業運営基金取り崩しの同意について
 - ・平成29年度収支補正予算（第3号）の同意について
 - ・平成29年度事業計画（案）について
 - ・平成29年度収支予算（案）について
 - ・指定訪問介護事業・指定介護予防訪問介護事業運営規定の一部改正について
 - ・指定訪問入浴介護事業運営規定の一部改正について
 - ・指定居宅介護支援事業運営規定の一部改正について
 - ・指定訪問看護事業・指定介護予防訪問看護事業運営規定の一部改正について
 - ・指定地域密着型・指定介護予防通所介護事業運営規定の一部改正について

〔評議員会〕

- 平成28年 5月28日
- ・平成27年度事業報告の承認について
 - ・平成27年度法人全体収支決算の承認について
 - ・法人全体収支補正予算の承認について
 - ・指定訪問介護事業・指定介護予防訪問介護事業運営規定の一部改正について
 - ・指定訪問看護事業・指定介護予防訪問看護事業運営規定の一部改正について
 - ・任期満了に伴う福祉サービス苦情解決第三者委員の承認について
 - ・任期満了に伴う理事・監事の選任について
 - ・平成28年度職員賞与支給率について
- 平成29年 2月 9日
- ・定款の一部改正について
 - ・評議員選任・解任既定の制定について
 - ・理事・監事選任既定の制定について
 - ・役員等の報酬及び費用弁償に関する規定の一部改正について
 - ・欠員に伴う理事・監事の選任について
 - ・指定訪問介護事業・指定介護予防訪問介護事業運営規定の一部改正について
 - ・障害者総合支援法に基づく居宅介護事業、重度訪問介護事業、同行援護事業、行動援護事業運営規定の一部改正について
 - ・指定特定相談支援事業・指定特定障害児相談支援事業運営規定の一部改正について
 - ・平成28年度収支補正予算（第2号）の承認について
 - ・愛の福祉金庫貸付事業並びに緊急小口資金貸付事業にかかる貸付金の償還金免除について
 - ・評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
 - ・評議員選任・解任委員会の委員の選定について
 - ・定款施行細則の一部改正について
 - ・経営の在り方検討会の設置について
 - ・第2次新宮市地域福祉活動計画推進委員会の設置について
- 平成29年 3月30日
- ・退職職員による時間外手当請求労働審判の調停結果について
 - ・新宮市社会福祉協議会経営の在り方検討会答申について
 - ・第2次地域福祉活動計画推進委員会答申について
 - ・介護保険事業運営基金取り崩しの承認について

- ・平成29年度収支補正予算（第3号）の承認について
- ・平成29年度事業計画（案）について
- ・平成29年度収支予算（案）について
- ・指定訪問介護事業・指定介護予防訪問介護事業運営規定の一部改正について
- ・指定訪問入浴介護事業運営規定の一部改正について
- ・指定居宅介護支援事業運営規定の一部改正について
- ・指定訪問看護事業・指定介護予防訪問看護事業運営規定の一部改正について
- ・指定地域密着型・指定介護予防通所介護事業運営規定の一部改正について
- ・退任に伴う理事の選任について

[評議員選任・解任委員会]

平成29年 3月15日 ・社会福祉法改正に伴い、平成29年4月1日からの新評議員を選任しました

[監 査]

平成28年5月11日 ・平成27年度事業執行状況並びに一般会計について監査

(2) 三役会（正副会長・常務理事）の開催

毎月三役会を開催し、社協の運営全般にわたり協議しました。

(3) 部会

平成28年度の開催はありませんでしたが、7名の検討委員による経営の在り方検討会を設置し、社協全般の事業並びに収支について検討し、今後の方向性について会長に答申しました。

(4) 自主財源の確保と会員加入の促進

①社協会費会員の加入状況

個人会員（1口 500円）	2, 639口	（27年度 2, 786口）
賛助会員（1口 3,000円）	292口	（27年度 310口）
特別会員（1口 5,000円）	54口	（27年度 59口）
法人会員（1口10,000円）	35口	（27年度 44口）
会費収入合計	2, 815, 500円	（27年度 3, 058, 000円）

②共同募金配分金

赤い羽根共同募金配分金 4, 529, 957円（27年度 5, 144, 391円）

歳末たすけあい配分金 1, 974, 671円 (27年度 2, 062, 342円)
 新宮いのちの募金配分金 700, 000円 (27年度 792, 902円)
 MACHIサポート募金配分金 365, 000円

③善意銀行繰出金

ボランティア活動推進事業サービス区分へ繰入 5, 000, 000円 (27年度 5, 000, 000円)

④介護保険事業繰出金

地域福祉事業拠点区分へ繰入 23, 410, 000円 (27年度 30, 158, 000円)

⑤ボランティア基金利息配当金

234, 907円 (27年度 239, 630円)

(5) 先進地社協等の調査研究

・三重県亀山市社協にて「地域住民における見守り活動」をテーマに福祉委員が視察研修を実施しました。

(6) 職員研修等の実施

職員研修等で人権について学ぶ機会を積極的に設け、職場全体で人権意識の向上に努めました。また、新規採用職員に対し、各事業所での現場実習や職員としての知識やマナーを身に付ける研修を実施しました。

- ・新人職員研修 平成28年度新入職員に対し社協の事業について各部の研修を実施 4月1日～27日
- ・新人職員研修 「社協職員としての責務や心構え」 4月14日
- ・人権研修 「人権問題をはじめ、さまざまな人権の問題」 8月 5日
- ・人権研修 「リスペクトアザース ～DVをする人にもされる人にもならないために～」 平成29年2月16日

(介護保険事業部)

- ・介護支援専門員スキルアップ研修 (毎週開催)
- ・訪問介護員スキルアップ研修 (毎月開催)
- ・訪問看護員スキルアップ研修 (毎月開催)
- ・通所介護事業職員スキルアップ研修 (毎月開催)

[訓練]

- ・福祉センター火災想定避難訓練、消火器使用訓練 8月 9日
- ・あけぼのデイサービス地震津波想定避難訓練 9月 8日
- ・中央児童館不審者侵入想定対応訓練 10月12日
- ・福祉センター地震津波想定避難訓練 平成29年 1月16日

〔会議〕

○和歌山県・市町村社協関係

- ・和歌山県市町村社会福祉協議会連絡協議会 平成28年度総会（和歌山市） 4月13日
- ・和歌山県市町村社協連絡協議会平成28年度業務課題検討会 7月15日
- ・平成28年度市町村社会福祉協議会事務局長会議（和歌山市） 9月 2日
- ・2016年度社会福祉士実習指導者講習会（津市） 9月17日
- ・第2次地域福祉活動計画打ち合わせ会（和歌山大学） 9月20日
- ・改正育児・介護休業法・男女雇用機会均等法等説明会 10月12日
- ・和歌山県市町村社協ボランティア・市民活動センター担当者会議 11月22日
- ・平成28年度市町村社会福祉協議会会長会議 12月 7日
- ・「地域住民主体による見守り支援活動を進めるための手引き（仮称）」作成にかかる検討会 12月15日
- ・「地域住民主体による見守り支援活動を進めるための手引き（仮称）」作成にかかる検討会（田辺市）
平成29年1月30日
- ・「地域住民主体による見守り支援活動を進めるための手引き（仮称）」作成にかかる検討会 2月16日
- ・障害者雇用納付金制度事務説明会（田辺市） 2月17日

○介護保険関係

- ・平成28年度第1回社会福祉協議会における介護保険事業の在り方検討会（和歌山市） 6月14日
- ・平成28年度第2回社会福祉協議会における介護保険事業の在り方検討会（和歌山市） 10月25日
- ・介護支援専門員実務研修における実習受け入れ協力事業所に対する説明会（田辺市） 10月26日
- ・平成28年度介護保険サービス事業者に対する集団指導（田辺市） 11月22日
- ・平成28年度第3回社会福祉協議会における介護保険事業の在り方検討会（和歌山市） 12月20日
- ・平成28年度第4回社会福祉協議会における介護保険事業の在り方検討会（和歌山市） 2月 6日
- ・介護保険施設等における非常災害対策についての事業者説明会（田辺市） 2月 7日
- ・平成28年度市町村認知症施策連絡会（和歌山市） 2月10日
- ・平成28年度事業所集団指導及び障害福祉保健行政等に関する説明会議（田辺市） 3月22日

○新宮市関係

- ・新宮市要保護児童対策地域協議会 7月14日
- ・新宮市暴力追放協議会総会・講演会 8月26日
- ・地域包括支援センター運営協議会 5月12日、1月24日

- ・ 高齢者支援連絡会 9月 8日
- ・ 新宮市健康づくり計画委員会 1月12日
- その他
- ・ 平成28年度熊本地震における災害ボラセン運営支援のための職員派遣（菊陽町災害ボランティアセンター） 5月1日～7日
- ・ 平成28年度熊本地震和歌山県内社協職員近畿ブロック派遣（大津町災害ボランティアセンター） 5月5日～11日
- ・ 平成28年度熊本地和歌山県内社協職員近畿ブロック派遣 5月29日～6月4日
- ・ 平成28年度熊本地震和歌山県内社協職員派遣にかかる「振り返り会」 8月16日
- ・ 平成28年度和歌山県社会福祉功労者表彰式 10月12日
- 〔研修会への参加〕
- 全国・和歌山県・市町村社協関係
- ・ 人権フォーラム「人権をめぐる旅」～高野山と真田幸村から～（高野町） 8月22日～24日
- ・ 平成28年度福祉サービス利用援助事業新任生活支援員研修会 7月12日
- ・ 平成28年度第1回福祉サービス利用援助事業専門員研修会 10月3日
- ・ 平成28年度福祉人材キャリア形成支援研修障がい者虐待防止研修会（和歌山市） 10月19日
- ・ 町内・集落福祉全国サミットIN福島 11月25日～27日
- ・ 平成28年度福祉サービス利用援助事業紀南ブロック専門員研修会 12月 2日
- ・ 社協ボランティア・市民活動センター担当職員研究セミナー（東京都） 12月12日～14日
- ・ 第12回権利擁護・虐待防止セミナー 2月13日
- ・ 平成28年度市町村社会福祉協議会役職員研修会（田辺市） 2月14日
- ・ 平成28年度第2回福祉サービス利用援助事業専門員研修会・生活支援員継続研修会 平成29年3月 2日
- ・ 平成28年度和歌山県地域福祉推進フォーラム 3月 7日
- ・ 第1回地域福祉フォーラム（岩出市） 3月15日
- 介護保険関係
- ・ 平成28年度認定調査員新任研修 4月21日
- ・ 新人職員向け 介護職員初級者研修（田辺市） 5月10日～7月20日
- ・ 平成28年度訪問看護ステーション連絡協議会 第19回総会並びに第1回研修会 5月21日

- ・ 自立支援型ケアマネジメント推進セミナー（和歌山市） 5月27日
- ・ 結核研修会（和歌山市） 6月4日
- ・ 介護リーダー研修「介護事業所のためのリーダーシップ研修」 6月15日
- ・ 平成28年度サービス提供責任者研修（田辺市） 6月16日
- ・ 平成28年度相談支援従事者初任者研修（和歌山市） 6月28日～7月15日
- ・ 平成28年度第1回和歌山県認知症介護基礎研修（田辺市） 7月1日
- ・ 運行管理者等一般講習・基礎講習（和歌山市） 7月6日～8日
- ・ ストーマケアセミナー（田辺市） 7月9日
- ・ 平成28年度主任介護支援専門員更新研修 7月9日～10月12日
- ・ 平成28年度介護認定調査員現任研修（田辺市） 7月12日
- ・ イライラ感情コントロールと介護ケア（田辺市） 7月13日
- ・ 平成28年度介護支援専門研修課程Ⅱ（上富田町） 7月14日～8月31日
- ・ 筋萎縮性側索硬化症 研修会・交流会（和歌山市） 7月23日
- ・ 平成28年度サービス提供責任者研修（田辺市） 7月29日
- ・ 平成28年度介護支援専門員専門研修（専門研修課程Ⅰ）（上富田町） 8月5日～11月11日
- ・ 介護技術指導者研修会（東京都） 8月20日～23日
- ・ 地域包括ケア個別会議導入セミナー（有田川町） 10月8日
- ・ 平成28年度主任介護支援専門員研修 10月13日～2月14日
- ・ 考えよう。これからの地域包括ケアシステムと訪問介護から見た総合事業（白浜町） 11月12日
- ・ 高齢者虐待防止市町村職員研修（フォローアップ研修）（和歌山市） 11月15日
- ・ 小児在宅医療実技講習会（和歌山市） 11月26日
- ・ 平成28年度福祉人材キャリア形成支援研修 ファシリテーション研修（中級）（和歌山市） 1月20日
- ・ 地域リーダー養成研修（ケアマネジメント連携実践研修）（海南市・和歌山市）
平成29年1月29日～30日
- ・ 平成28年度市町村社会福祉協議会介護サービス経営研究会
住民主体の地域包括ケア推進セミナー（東京都） 2月21日～22日
- ・ 日本介護支援専門員近畿大会（神戸市） 3月11日～12日
- ・ 和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会 管理者研修会及び管理者会（和歌山市） 3月18日

〔研修会等講師・発表への派遣〕

- ・平成28年度和歌山県介護支援専門員指導者会議・ファシリテーター研修（和歌山市） 7月27日
- ・平成28年度和歌山県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ（上富田町） 7月28日～29日
- ・平成28年度和歌山県介護支援専門員研修専門課程Ⅱ 8月9日
- ・訪問型家庭教育支援事業シンポジウム（田辺市） 平成29年 1月16日
- ・平成28年度和歌山県主任介護支援専門員研修 2月13日～14日

(7) 人事評価の実施 全職員に対して人事評価を実施し、職員の資質の向上及び勤労意欲の向上を図りました。

(8) 広報誌等の発行

社協広報誌「アシスト」を毎月発行（全戸配布）

(9) 衛生委員会の開催

4月15日、6月17日、8月19日、10月21日、12月16日、2月17日 計6回開催

(10) 各種委員の推薦・受託等

- ・和歌山県社会教育委員 奥田修子（任期：平成28年9月1日～30年8月31日）
- ・和歌山県共同募金会配分委員 田中信秀（任期：平成27年 2月 8日～29年 3月31日）
- ・和歌山県共同募金会評議員 榎本義清（任期：平成27年 2月 8日～29年 3月31日）
- ・和歌山県共同募金会理事 奥西誠人（任期：平成27年 2月 8日～29年 3月31日）
- ・日本赤十字社和歌山県支部評議員 榎本義清（任期：平成28年 2月14日～31年 3月31日）
- ・新宮市防災会議委員 奥西誠人
- ・新宮市地域包括支援センター運営協議会委員 奥西誠人（任期：平成27年 8月26日～29年 8月25日）
- ・高齢者支援連絡会委員 奥西誠人（任期：平成27年 9月 1日～29年 8月31日）
- ・新宮市健康づくり計画委員会委員 奥西誠人（任期：平成29年 1月12日～31年 1月11日）

2. 小地域を単位とした地域福祉活動の推進（第2次地域福祉活動計画）

(1) 各地区と地域福祉活動計画との連動

地域福祉活動計画に基づき、地区懇談会や代表者会議をとおして各地区の今後に向けての取組みを検討しました。

(2) 各種事業の地域移行

各地区に担当職員を配置し、それぞれの地域の実情や多種多様なニーズを把握したうえで「住民主体」を主眼において活動しましたが、地域の事業として展開するには課題があります。

(3) 各地区での「ふくし相談」の開催

各旧小学校区において月1回「ふくし相談」「巡回相談」を実施しました。

3. 第2次地域福祉活動計画の推進

(1) 第2次地域福祉活動計画の基本目標の推進

第2次福祉活動計画の基本目標に基づき「人育て」「まち育て」「ネットワーク育て」を目指し、地域福祉活動の推進に取り組みました。

(2) 各地区地域福祉活動計画の推進（地域福祉活動の支援）

区・町内会をはじめ福祉委員、民生児童委員など地域の組織と連携をはかり、地域をとりまとめていく組織づくりや巡回相談による他機関との連携強化を図りました。一方では計画どおりに実施できなかった地区もあり今後の検討課題としていく必要があります。

(3) 推進委員会の開催

28年度は第2次地域福祉活動計画推進中間年として11名の推進委員、1名のアドバイザーによる推進委員会を立ち上げ、今後2年間の活動についてご協議いただき、社協会長へ答申いただきました。

11月4日、12月16日、平成29年1月20日、2月17日、3月10日 計5回開催

(4) 会長答申

3月10日 5回にわたってご議いただいた以下の内容を、社協会長に答申いただきました。

1. 活動を推進する核となる組織（合議体）の形成
2. 交流の場の開催
3. 地域資源を活かし担い手を作る
4. 地域福祉活動に住民が参加するしかけをつくる

4. 地域福祉事業の推進

(1) 小地域ネットワークづくり事業の推進

①地域福祉推進委員会の設置

三輪崎地区、高田地区、丹鶴地区、王子地区では代表者による会議を開催し、地域の課題解決に向けて取り組んできましたが、他の地区についても随時会議等を開催しましたが、地域福祉推進委員会の設置までには至りませんでした。

②区、町内会との連携

新宮市町内会長連絡協議会並びに熊野川町区長連絡協議会の総会において、社協事業への協力を依頼しました。また、新宮いのちの募金助成事業として、防災・減災を目的とした地域の見守り活動の充実を図りました。

③新宮いのちの募金助成事業

新宮いのちの募金事業を通して区・町内会が行う防災、減災を通じた地域の見守り活動に配分し、地区担当職員が活動の実施をお手伝いしました。

④地域福祉推進リーダーの発掘

地区担当職員が地域へ出向き、町内会長等地域の方々との交流を深め、また地域の社会資源等の実態を把握しながらリーダーの発掘に努めました。

⑤ふれあいいきいきサロンの開催

少しでも社会的孤立感が解消されるよう、また地域コミュニティの充実を目的に地域住民を対象にレクリエーションなどを取り入れたサロンを開催しました。

〔熊野川地区〕

9ヶ所（14地区）延べ80回開催 参加者数721名
（27年度 8ヶ所（13地区） 延べ71回開催 参加者数662名）

〔高田地区〕

12回開催 参加者数125名（27年度 6回開催 参加者数36名）
以上の他、各地区で福祉委員によるふれあいいきいきサロンを実施しています。

⑥一人暮らし・寝たきり高齢者激励訪問

平成28年11月25日 民生委員児童委員の実態調査をもとに、民生委員児童委員・福祉委員・社協役員により、地区ごとに近隣に身寄りのいない75歳以上の一人暮らし高齢者297名、65歳以上の寝たきり高齢者129名を訪問しました。

（28年度 一人暮らし高齢者279名、寝たきり高齢者166名）

⑦ふれあい交流事業

〔丹鶴地区〕

- ・平成29年2月12日 福寿園を会場に丹鶴地区福祉委員主催でふれあい交流会を実施。参加者はマジックショー、落語、ビンゴゲームを楽しみました。参加者80名

〔千穂第1地区・第2地区合同〕

- ・平成29年3月4日 神倉小学校体育館を会場に、千穂第1地区千穂第2地区の福祉委員主催でふれあい交流会を実施。参加者は千穂幼稚園児による踊りや那智勝浦吹奏楽団の演奏、落語、踊り、コーラスなどを楽しみました。参加者170名

〔千穂第2地区〕

- ・平成29年3月4日 広角会館を会場に千穂第2地区福祉委員主催でふれあい交流会を実施。参加者はマジックショーや新木保育園児の歌などを楽しみました。参加者40名

〔蓬莱地区〕

- ・平成28年11月29日 蓬莱小学校体育館を会場に蓬莱地区福祉委員主催でふれあい交流会を実施。参加者は蓬莱幼稚園児の踊りやマジックショーを楽しみ、最後にみんなで盆踊りを踊りました。参加者70名

〔王子地区〕

- ・平成29年1月29日 王子会館を会場に王子地区福祉委員会主催のふれあい交流会を実施。参加者はYOSAKOIソーランや落語、三味線、輪投げなどのゲームを楽しみました。参加者105名

〔三輪崎地区〕

- ・平成29年3月11日 三輪崎会館を会場に三輪崎地区福祉委員主催でふれあい交流会を実施。参加者は新翔高等学校吹奏楽部の演奏や三輪崎婦人会の踊り、マジックショーを楽しみました。参加者100名

〔高田地区〕

- ・平成28年11月6日 高田グリーンランド会場に高田地区福祉委員会が中心となり区や学校等地域全体の協力によりふれあい交流事業を実施。参加者は高田保育所・小学校・中学校の園児・児童・生徒の踊りや歌。那智勝浦吹奏楽団の演奏を楽しみました。参加者80名

〔熊野川地区〕

- 区長連絡協議会・熊野川公民分館・熊野川地区民生委員児童委員協議会・熊野川地区福祉委員会・ゆう

ゆうクラブ熊野川支部の5団体共催によるふれあい交流事業を実施しました。

- ・平成28年11月11日 熊野川町若もの広場にてグラウンドゴルフ大会を開催。参加者130名
- ・平成29年3月2日 熊野川総合開発センターで実施。参加者は三津ノ保育所の園児による歌とダンス、地元豊優会の踊り、日本民謡くろしお会による熊野川小唄、南紀勝浦天満座の大衆劇を楽しみました。参加者160名

(2) 福祉委員活動の推進

- ①福祉委員登録者数 29年3月末現在 8地区合計 273名 (28年3月末現在 273名)
- ②地区福祉委員会正副委員長会議 年6回開催
- ③視察研修 28年12月7日 三重県亀山市社会福祉協議会にて研修。34名参加。
- ④全体研修会 28年6月8日 「認知症の理解を深めよう」～正しく知ってみんなで支えよう～
講師：新宮市地域包括支援センター
松本美貴氏（看護師）、丸山成子氏（社会福祉士）
29年2月2日 「傾聴について」
講師：ボランティアグループアップル 原田幸和氏
3月6日 福祉委員活動報告交流会
- ⑤地区福祉委員会ごとに定例会及び研修会を開催。今年度も重点活動としてふれあいいきいきサロンを実施し、更に見守りあんしんカードを利用した見守り活動にも取り組みました。また、各地区のボランティアや地区の活動にも積極的に参加していただきました。特に、熊野川地区福祉委員会においては、HUG（避難所運営ゲーム）を実施しました。

(3) 児童虐待防止事業の推進

「子育てあんしんネットしんぐう」（新宮市児童虐待防止連絡会）に、93の関係機関・団体が参加しています。参加協力団体のネットワークづくりとともに「新宮市要保護児童対策地域協議会」と連携した事業の企画・立案にもとづいて行事を実施しました。今後更に、子どもたちが安心して暮らせるまちとなるよう、住民一人ひとりが子供たちの見守りや声かけをする環境整備をすすめることが課題です。

① 総会の開催

5月16日 平成27年度事業報告・平成28年度事業計画について承認

② 子育てあんしんネットしんぐう推進委員会の開催

参加協力機関・団体から選出された25名の推進委員により、年4回開催

③ 研修会の開催

5月16日 「ファミリーサポートセンター事業について」

講師：新宮市子育て支援センター 和田孝代氏

新規加入団体活動紹介 「NPO法人熊野」「クマノコミチ」

11月7日 「地域で子育てを支えるために ～子ども・家庭支援の現場から～」

講師：大阪府子ども家庭サポーター 辻由起子氏

1月23日 親子参加型講座 親子で遊ぼう「じゃれつき体操」教室

講師：P-UP SHINGU 健康運動指導士 杉浦資史氏

④ 広報活動の実施

社協広報誌「アシスト」を（全戸配布）を利用し周知を図るとともに、活動紹介をしました。

⑤ 啓発活動の実施

啓発バッジによる啓発を実施。参加協力機関・団体の会員がバッジをつけて平時から虐待防止・子育て支援の啓発を実施しました。

⑥ 児童虐待防止月間の取り組み

・ 垂れ幕の掲示

虐待防止の機運を高め、子育てに悩みをかかえる親を支援することを目的に11月「児童虐待防止月間」の垂れ幕を福祉センター、オークワ新宮仲之町店、イオン新宮店の3カ所に掲示しました。

・ オレンジリボンキャンペーン

新宮市保健センター、市福祉センターの来場者にオレンジリボンにメッセージを書いてもらい、ツリーに飾る活動を1ヶ月間実施。また、10月30日イオン新宮店、スーパーセンターオークワ南紀店、オークワ新宮仲之町店にて児童虐待防止啓発物資やオレンジ風船の配布、オレンジリボンにメッセージを書いてもらうなどの街頭キャンペーンを実施しました。

・ 市内の保育園（所）、幼稚園、小・中学校の全児童、生徒に児童虐待防止の啓発チラシを配布すると共に、城南中学校と協働で児童虐待防止についての授業を実施しました。

(4) 福祉のまちづくり事業の実施

①障がい児激励事業

2月5日 新宮市障害児者父母の会に協力いただき「新春お楽しみ会」を開催しました。
障がい児者やボランティアあわせて約100名が参加しました。

②戦没者追悼式

10月22日 戦没者遺族を招き、福祉センターで開催しました。 150名が参列

③わかやまシニアの力活用推進事業「お互いさまバンク」

65歳以上の経験や知識のある方等で、地域のために支援をしたい方と、高齢者や障害者等で支援を必要とする方が互いに登録し助け合う仕組み作りを整備 サービス提供会員32名（平成27年度13名）

④「愛の日」バザー

11月15日 新宮市婦人会と共催で開催 売り上げ 302,205円（27年度315,561円）

⑤人の和フェスティバルへの協力

3月18日 障がい者（児）福祉向上のためスーパーセンターオークワ南紀店駐車場を会場として開催。

⑥人権研修会の開催及び参加

11月27日 市民のつどい2016・ふれ愛講座を新宮市と共催で開催しました。
テーマ：「あきらめない心」 講師：ちゃんへん氏

⑦歳末施設訪問

12月20日 紀南学園、黒潮園、温泉ハウスくまの、杉の郷「えぼし寮」、なぎの木園、第2なぎの木園、わかば園、わかば園第2作業所、寿楽荘、ワークショップ「ゆう」、障害児者支援センター「虹」、どんぐりの家、生活介護事業所「えん」、杉の郷、熊野川園の15施設を社協三役が訪問し利用者を激励しました。

5. ボランティア活動事業の推進

(1) ボランティア・市民活動センター事業

活動の異なる様々な団体が協働して誰もが住みよいまちづくりを目指すとともに、登録している団体・個人がボランティア市民活動センターに常駐し、一般市民対象の行事を開催するなどしてボランティア活動への参加促進を図っています。

・登録数 111団体（内NPO法人7）、個人47名（27年度 112団体・個人49名）

①運営委員会の開催

12名の運営委員及び監事2名により、毎月開催（12回）

②広報・啓発

- ・社協広報誌「アシスト」にコーナーを開設、また参加団体や社協役員に会報「結夢だより」を発送。
- ・掲示板を利用し、参加団体またはセンターの催しなどの情報提供とともにブログにて情報発信しました。

③交流と連携（ネットワーク）の促進

4月28日	新規登録団体紹介・交流会		
11月26日	登録団体・個人	交流会	桑の木の滝（高田）ハイキング・グラウンドゴルフ
1月31日	登録団体・個人	交流会	歌の練習とカップス
3月26日	登録団体・個人	交流会	花見・グラウンドゴルフ

④勉強会、研修会の開催

10月7日 「ここがすごい！私の団体！！ ～誉めるから始まるコミュニケーション～」
講師：特定非営利活動法人わかやまNPOセンター 副理事長 志場 久起氏

⑤「しんぐう元気フェスタ」の開催

2月12日に新宮市ボランティア・市民活動センター登録団体と地元企業・事業所による協働事業として「元気！！」をテーマに新宮市福祉センターにて開催。実施にあたっては新宮市内の8企業・団体及びわかやまNPOセンター、和歌山県社会福祉協議会、新宮市、新宮市ボランティア・市民活動センター、新宮市社協による会議を2回開催。企業、19団体及び個人ボランティアが参加し34コーナーを実施。約1,200人の参加がありました。ボランティア・企業・行政・社協が協働して取り組む貴重な機会となっています。

⑥災害時対応訓練及び研修会への参加協力

3月12日に開催した災害ボランティアセンター設置訓練に参加協力（今年は丹鶴地区を被災地区と想定）主に活動ボランティアとして参加協力しました。

⑦カルチャーサロンの開催

登録団体の協力により、11サロンを計119回開催（27年度8サロン 110回開催）。

新しいカルチャーサロンも増え参加する人にも選択する楽しみも増え、参加者も増加しています。

絵手紙教室, ゆる体操, 布ぞうり作り, マジック教室, ちぎり絵, 筆文字教室, 折形, 手作りおもちゃ作り等

(2) ボランティアコーディネーター事業

ボランティアスクールに参加した生徒からは毎年自分の成長や立場を考え、自己実現につながるいい機会となったとの感想があります。福祉体験講座については、単発なため児童生徒の理解やその効果が見えにくいという側面もあり学校と連携し、その後授業でのあり方等把握が必要です。またボランティアの育成全般については、今後地域のニーズを把握し、その解決に向けた活動者の育成が必要です。

① ボランティアの育成

[研修会等の開催]

・ ボランティア養成講座の開催

小・中学生を対象とした「手話教室」 (第1・第3木曜日 受講者5名)

一般を対象とした「点字教室」 (第2・第3金曜日 受講者5名)

[福祉教育の推進]

・ 福祉教育担当者会議

6月10日 小・中・高・支援学校と共に福祉教育を推進するための打ち合わせ会議を開催。

・ 福祉体験講座の開催

手話・点字・車いす・高齢者疑似体験講座、ボランティア講座などの出張講座を開催。

高等学校4校、中学校1校、小学校4校、町内会1、福祉委員会1 延べ15回開催

(27年度 6校15回)

・ ボランティアスクールの開催

7月26日～7月29日 中・高校生67名参加 (27年度 74名)

・ 小・中・高等学校との連携

② ボランティア活動の支援

・ 相談、活動支援

(朗読サービス)

毎月市広報誌と社協広報誌「アシスト」をカセットテープに吹き込み、声の広報として発送。

利用者7名 ボランティア やすらぎグループ「声」

(点訳サービス)

毎月市広報誌と社協広報誌「アシスト」を点訳し発送

利用者 10名 ボランティア 点字ボランティア「てんとう虫」

- ・近年、社会的課題を抱えた方々の活動希望が増え、単にボランティア調整だけでなく、その人をエンパワメントしていく、あるいは生活課題の解決や予防に向けて支援していくケースが増えてきました。

相談件数 年間 79件 (27年度 148件)

ボランティア調整 年間 69件 (27年度 140件)

③新宮市との連携

新宮市要保護児童対策地域協議会と連携し、福祉センターの外壁に児童虐待防止月間の垂れ幕を1か月掲げ、地域全体への啓発に取り組みました。また、児童虐待防止月間時には、広い範囲にて、街頭キャンペーンなどの周知徹底に取り組みました。

6. 要援護者支援事業の推進

(1) 福祉サービス利用援助事業

判断能力が不十分な高齢者、知的障がい者・精神障がい者等が地域で安心して自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きや公共料金等の支払い、通帳や証書の預かりなどの支援を行っています。また、専門員連絡会や生活支援員研修会、利用者のケース会議等へ参加し、サービスの向上を図っています。

契約件数 26件 (高齢者9名、知的障がい者11名、精神障がい者3名、その他3名)

(27年度契約件数 26件)

(2) 生活困窮者支援事業への協力

ふくし相談等を利用して、市福祉課と生活困窮者支援に関する情報共有等を行いました。

(3) ふくし相談 (旧小学校区8地区で開催) 相談件数 76件 (27年度相談件数 68件)

(4) 福祉車両・車いすの貸出事業 貸出件数 福祉車両 141件 (27年度 151件)

車いす 39件 (27年度 85件)

(5) 紙おむつ半額助成事業

新宮市から紙おむつの給付を受けている方で社協会員を対象に実施。利用者数 4名 (26年度 7名)

(6) 貸付事業の実施

- ・生活福祉資金貸付事業 (県社協受託事業)

低所得者世帯の生活の安定と経済的自立を図るために和歌山県社会福祉協議会からの受託事業として実施しています。

8件 12,205,022円を貸付（27年度 1件 2,160,000円）

・緊急小口資金貸付事業

15万円を限度に低所得者に貸付しています。

5件 565,000円を貸付（27年度 5件 670,000円）

・愛の福祉金庫貸付事業

5万円を限度に低所得者に貸付しています。

4件 170,000円を貸付（27年度 7件 242,000円）

7. 災害時対応事業の推進

(1) 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

平成29年3月12日 丹鶴地区を被災地区と想定し訓練を実施。災害ボランティアセンター運営スタッフのスキルアップや運営にかかる新たな担い手の発掘、新たな取り組みとして被災地区の町内会との連携を図るプログラムを実施しました。

当日参加人数 約160名（平成27年度参加人数140名）

(2) ボランティア・市民活動センターとの連携

毎年実施している災害ボランティアセンターの設置訓練には、多数のボランティア・市民活動団体が参加し、中でも、活動の主目的を災害時の活動に特化している団体や災害ボランティアセンターの運営経験のあるボランティアを中心に訓練では運営スタッフとしても積極的に協力いただきました。

(3) 日本赤十字社との連携

日赤県支部と連携し災害救援ボランティアの育成に努めました。また、下記の日程で講演会を実施しました。

平成28年5月12日 講演テーマ：「赤十字について」「災害医療救護について」

平成29年2月26日 講演テーマ：「赤十字事業は、みなさまに支えられています」

(4) 和歌山県社会福祉協議会（和歌山県災害ボランティアセンター）との連携

社会福祉協議会における災害時の相互支援協定による連携の他、災害ボランティアセンター運営に関するアドバイスをいただきました。

(5) 県下市町村社会福祉協議会における災害時の相互支援

平成24年1月30日に締結された「社会福祉協議会における災害時の相互支援協定」によって県内の市町村社協と災害時の相互支援について取り決めています。また、毎年和歌山県市町村社協連絡協議会災害時の相互支援活動積み立てとして拠金しています。

(6) 有事に備えた必要資機材・物資等の備蓄管理

備蓄倉庫を借り、平成23年度から備蓄している資機材を管理しています。

(7) 災害ボランティアセンターについての情報収集並びに視察

災害ボランティアセンターに関する資料や県社協担当職員等と連携をはかり、情報収集を行いました。

(8) 「防災ネットしんぐう」「災害救援ボランティアチーム新宮」等の災害時の活動を主とする組織団体との連携
特定非営利活動法人わかやまNPOセンターとの連携

新宮市災害ボランティアセンター設置・運営訓練の際は運営スタッフとして参加協力いただき、わかやまNPOセンターに関しては、災害ボランティアセンター設置訓練に関するアドバイスをいただきました。

8. 善意銀行の運営

377,629円(38件)の寄付金を受入れました。 一般預託 362,629円、指定預託 15,000円
(27年度 39件 653,300円 一般預託 623,300円、指定預託 30,000円)

【28年度指定預託金内訳】

払出先	件数	金額	備考
紀南学園	1	15,000円	
計	1	15,000円	

9. 介護保険事業の運営 内・・・27年度実績

(1) 居宅介護支援事業(ケアプランの作成)

・居宅介護計画(ケアプラン)作成件数

3,277件(月平均 273件)

3,337件(278件)

(2) 訪問介護事業 (ホームヘルプサービス事業)		
・新宮ステーション	月平均利用者数 113名	130名
	訪問時間 35,547時間	40,510時間
・熊野川ステーション	月平均利用者数 21名	22名
	訪問時間 7,128時間	6,127時間
(3) 訪問入浴介護事業 (移動入浴車派遣による入浴介護事業)		
月平均利用者数	15名	19名
派遣回数	597回 (月平均 50回)	684回 (57回)
(4) 訪問看護事業 (医療含む)		
月平均利用者数	106	77名
訪問時間	6,622時間 (月平均 551時間)	7,367時間 (614時間)
緊急対応件数	電話対応 83件	37件
	訪問対応 117件	116件
(5) 通所介護事業 (小規模デイサービス)		
開設日	月曜日～土曜日	
	1日平均利用者数 7.5名	7.7名
	延べ利用者数 1,874名	2,367名
(6) 障害者総合支援居宅介護事業 (障害者ホームヘルプサービス事業)		
・新宮ステーション	月平均利用者数 62名	68名
	訪問時間 14,182時間	16,092時間
・熊野川ステーション	月平均利用者数 3名	4名
	訪問時間 835時間	980時間
(7) 介護認定訪問調査の受託		
調査件数	156件 (月平均 13.0件)	192件 (16.0件)

(8) 介護予防サービス事業

① 介護予防支援（ケアプラン）作成件数

1, 266件（月平均 106件）

1, 317件（110件）

② 介護予防訪問介護

・新宮ステーション

月平均利用者数 105名

106名

派遣回数 9, 990回

10, 369回

・熊野川ステーション

月平均利用者数 20名

20名

派遣回数 1, 626回

1, 634回

③ 介護予防通所介護

開設日

月曜日～土曜日

1日平均利用者数 1.4名

1.42名

延べ利用者数 433名

439名

④ 介護予防訪問看護

月平均利用者数

20名

19名

訪問時間

722時間

642時間

(9) 熊野川地域包括支援センター

相談件数

202件

238件

予防プラン数

276件

353件

(10) 特定相談支援事業・障害児相談支援事業の実施

利用者数

62名

53名

計画策定

56件

69件

モニタリング

296件

272件

(11) にこにこサービス事業（介護保険外制度外サービス）

・新宮ステーション

月平均利用者数 10名

11名

訪問時間 382時間

1, 156時間

・熊野川ステーション 月平均利用者数 3名 1名
 訪問時間 44時間 21時間

(12) 災害時対応利用者名簿の管理

災害時における利用者の緊急連絡先や主治医等を記載した名簿を毎年見直しています。

(13) 介護職員初任者研修課程〔旧・ホームヘルパー2級課程〕の実施 15名受講 8名

(14) 地域介護相談や介護教室の開催

①介護相談

毎日相談を受けていますが、特に木曜日にはケアマネジャー、ホームヘルパー、看護師が常駐して相談を受けています。 相談件数 637件 876件

②介護教室

・新宮市理容組合の依頼により、ベッドから車椅子への移乗方法等の研修会に講師としてヘルパーを派遣。

(15) 和歌山県介護人材確保対策事業（新翔高等学校初任者研修講師派遣） 4名

10. 指定管理者制度（受託事業）の推進

(1) 福祉センター管理運営

福祉センター貸館業務

高齢者の生きがい教室や研修会等への貸館業務を実施（新宮市議会開催のため6月、9月、12月、3月の集会室の利用は含めていません。）

延べ利用者34,595名（27年度 36,289名）

高齢者入浴サービスの実施

福祉センターの浴室を毎週開放（火曜日女性、金曜日男性）

延べ利用者1,319名（27年度 1,644名）

(2) 中央児童館の運営

子どもの健やかな育成を図るため、日々の遊びを通しての個別的指導の他、野外での自然体験活動や異世代間の交流事業、集団でのクラブ活動、季節行事など様々な遊びを通して、健全に発達していくよう支援をしています。

①運営委員会の開催（運営委員8名）

6月3日 平成27年度活動報告並びに平成28年度事業計画他について承認

②利用状況

登録人員 620名 延べ利用者数 23,625名・開館日数239日 1日平均 97名
(27年度 558名 延べ利用者数 23,330名・開館日数240日 1日平均 97名)

③主な事業内容()は参加人数

- ・自然とのふれあい活動の実施
魚のつかみどり(37名)・バスハイキング(30名)・えんそく(33名)
- ・世代交流活動の実施
ゆうゆうクラブ女性部と交流ふれあいおはぎ作り(43名)
- ・創作活動や季節行事の実施
七夕のつどい(40名)・お月見のつどい(40名)・ハロウィンクッキー作り(36名)
クリスマスお楽しみ会(52名)・新春かるた大会(31名)・コマ回し大会(17名)・餅つき大会(71名)
節分のつどい(29名)・ひな祭りのつどい(26名)
- ・クラブ活動を通して集团的援助活動
週2回実施(スポーツ・パッチワーク)・週1回実施(卓球・ミニバスケット)
月2回実施(わくわく・お絵かきアトリエ) 6クラブに246回実施延べ3,814名参加
- ・未就園児の親子を対象にした子育て支援活動の実施
親子であそぼう(20回実施 延べ174組 348名)・育歯講座(17組)
- ・防災活動の実施(避難訓練の実施)
避難訓練(火災,地震,不審者侵入想定訓練の実施)
- ・市児童館や子育て関係機関との連携
ふれあい遠足(27名)・みんなであそぼう(9名)・オセロゲーム大会(5名)・卓球交流試合(10名)
- ・体験活動
みそ作り体験(37名)・生け花体験(18名)・かき氷体験(6日間延べ453名)
- ・その他の事業
莓大福作り(48名)・ミニオリンピック(30名)・段ボール迷路作り(13名)・ランプシェード作り(31名)
ミニ映画会(142名)・こどもまつり(636名)・チャレラン大会(74名)・遊び大作戦(31名)
ドッチビー大会(64名)・おはなし会(5回実施延べ49名)・作ってあそぼう(6回実施延べ120名)

11. 福祉サービスにおける苦情解決第三者委員会の運営

- ・第三者委員による検討事案はありませんでした。

12. 福祉関係団体との連携

(1) 民生委員児童委員協議会との連携

- ・子育て支援事業「子育てサロン」、「おやこサロン」の開催に協力（新宮地区…年4回、熊野川地区…年11回）
- ・生活福祉資金貸付け審査及び償還調査の依頼（28年度 貸付審査5件）
- ・一人暮らし・寝たきり高齢者激励訪問事業の共催

(2) 老人クラブ連合会（ゆうゆうクラブ）との連携

- ・老人クラブ活性化の推進
 - ・生きがいと創造の事業の推進
- | | | | |
|--------|------|-----|------|
| 生きがい教室 | 12教室 | 受講者 | 371名 |
| はつらつ教室 | 7教室 | 受講者 | 87名 |
| 老人菜園 | 2カ所 | 利用者 | 70名 |
- ・愛の日ゆうゆうクラブ芸能大会への協力 10月26日 出演11組 258名参加

(3) 赤十字事業への協力

- ・日赤社資募集 お願い額4,683,000円に対し、実績額4,529,347円
(27年度 実績額4,086,322円)

(4) 共同募金運動への協力

- ・赤い羽根共同募金運動

募金が地域の活動に活かされ自分たちのまちを良くするために3つの募金活動「ささえ愛募金」「MACHIサポート募金」「新宮いのちの募金」を実施しました。

目標額4,505,000円に対し、実績額4,623,555円

(27年度 実績額5,881,734円)

- ・歳末たすけあい運動 1,970,642円の募金があり、1,974,671円を配分【繰越金あり】
(27年度2,044,564円の募金があり、2,062,342円を配分)

【配分内訳】

福祉施設（４施設）	170,000円
ボランティア市民活動団体（14団体）	452,000円
歳末施設訪問事業	671,395円
一人暮らし・寝たきり高齢者激励訪問事業	418,329円
事務費	109,724円
障害児激励事業（新春お楽しみ会）	153,223円
合計	1,974,671円

平成28年度

事業報告書
一般会計収支計算書

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月 31日

社会福祉法人

新宮市社会福祉協議会